

従業員向けのバリアフリー研修を開催しました

日時：令和6年12月3日火曜日

参加者：ことでんバス株式会社 乗務員等 10名

場所：ことでんバス株式会社 本社営業所

協力いただいた講師の先生：

香川県視覚障害者福祉センター

① 視覚障害疑似体験



② サポート体験



◀ 運転席から席へ誘導

「カードをかざす場所やバスの行先等見えない方もいるので、口頭で案内があるとわかりやすいです。」

③ 当事者講師による講義



出口の状況（縁石や段差）を白杖で探るため、時間がかかることがあります。運転手さんから、「ゆっくりでいいですよ」という風に言ってもらえると、すごく安心できると思います。

④ 障害者差別解消法等説明



合理的配慮の提供や差別的取扱いの禁止といった、障害者差別解消法の概要を、事例も交えながら説明いたしました。

とても勉強になりましたよ！



【実施概要】

日時：令和6年12月3日(火)
場所：ことでんバス(株)本社営業所会議室
主催：四国運輸局
参加：香川県視覚障害者福祉センター
ことでんバス株式会社



【バリアフリー研修】

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合う社会の実現に向けて、ことでんバス株式会社さんの従業員の方を対象に、視覚障がい者疑似・サポート体験や障がい当事者の方からの講義を実施しました。

【意見交換】

研修後には、香川県視覚障害者福祉センターの方等とことでんバス株さんの意見交換を行いました。
香川県視覚障害者福祉センターさんに日頃よりバス、電車を利用している障がい当事者の方からの意見・要望を収集していただき、また、ことでんバス株さんから視覚に障害のある方へのサービス向上のために、乗務員の方から悩みごとや困りごとについて意見の収集を行っていただきました。

○意見交換

【香川県視覚障害者福祉センターの方等からの意見・要望】

- 白杖をもつようになってからは行き先を聞いてくれたり教えてくれることは増えたように思います。また、道路とバスの段差がないように停めてくださったり声かけしてくれ感謝しています。
- 行き先表示など見やすくしてほしい。まちなかループやレインボー循環バスのような表示だったら弱視の人は助かります。
- バスに乗車した時、盲導犬と一緒にだと、空席を探すのに他のお客様に迷惑しない様に気を使います。運転席からどこが空席か教えていただくと助かります。
- 乗降時には、安全のため介助を駅員等へ必ず依頼しています。毎回丁寧に対応していただいています。ありがとうございます。引き続き、どうかよろしく願い致します。また、その場にいる他の乗客のかたからも声をかけていただけることでとても安心して乗っています。これについては要望ですが、駅で声かけ運動のポスターを掲示していただいています。そのような、安全な電車利用のための社会啓発の取組を今後も続けてください。ことでんには、感謝を伝えてください。
- 降車の際に歩道、縁石等の車外の状況について、呼び掛けいただけると安心して降車できる。

【事業者の従業員の方等からの意見・要望】

- 白杖をお持ちの場合は気が付きやすいですが、お持ちでないお客様もいると思います。我々が気づいていない場合には、お知らせして頂けたら大変ありがたいです。
- お客様が乗車された後、座席までの誘導などが知りたいです。また、座席に座れなかった(満席など)としたら、どのような対処をすればよいですか。
- お降りの際、交通系ICカードを所持していればカードリーダーの場所を教えたり出来ますが、両替を含めて現金でお支払いする場合はどのような手伝いをしたら良いですか。
- バス案内所の窓口にチャージなど来ていただいた際は口頭でお伝えなどするのですが、イルカカードの残高が今どれ位か、残額確認は苦勞されていると見受けられます。
- 混雑時などには白杖をお持ちの方に気づかないことがありますが、できる限り乗り込んでくる乗客に注意を払うように心掛けたいです。
- 後部の座席が空いている場合は案内した方がいいですか。